

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-132620 (P2003-132620A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
 【出願番号】特願 2001-322916 (P2001-322916)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 19/28

G 1 1 B 20/10

【F I】

G 1 1 B 19/28 B

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 22 日 (2004.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置において、
 前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、
 前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、
使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、
 前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する制御手段とを備え、
 前記制御手段を、前記しきい値を更新する際に、前記ディスク回転手段を制御して任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記しきい値記憶手段に記憶させるよう構成したことを特徴とする情報ディスク記録再生装置。

【請求項 2】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、
 前記情報ディスク記録再生装置に、
 前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、
 前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、
使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、
 前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の

出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、

前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、

前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を、前記インターフェイス手段を介して、前記情報ディスク記録再生装置のしきい値記憶手段に記憶させる第2の制御手段を設けたことを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項3】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置の動作を制御するためのソフトウェアを生成する動作制御用ソフトウェア生成システムであって、

前記情報ディスク記録再生装置に、

前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、

前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られて、予め定めた前記情報ディスク記録再生装置の許容される振動量を表すしきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、

前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、

前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を用いて前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するよう制御するための前記情報ディスク記録再生装置の動作制御用ソフトウェアを生成する第2の制御手段を設けたことを特徴とする動作制御用ソフトウェア生成システム。

【請求項4】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置において、

前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、

前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、

前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する制御手段とを備え、

前記制御手段を、前記しきい値を更新する際に、前記ディスク回転手段を制御して前記所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記しきい値記憶手段に記憶させるよう構成したことを特徴とする情報ディスク記録再生装置。

【請求項5】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報

を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を、前記インターフェイス手段を介して、前記情報ディスク記録再生装置のしきい値記憶手段に記憶させる第2の制御手段を設けたことを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項6】

情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置の動作を制御するためのソフトウェアを生成する動作制御用ソフトウェア生成システムであって、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られて、予め定めた前記情報ディスク記録再生装置の許容される振動量を表すしきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を用いて前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するよう制御するための前記情報ディスク記録再生装置の動作制御用ソフトウェアを生成する第2の制御手段を設けたことを特徴とする動作制御用ソフトウェア生成システム。

【請求項7】

請求項2または請求項5に記載のコンピュータシステム、あるいは請求項3または請求項6に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムにおいて、それらの各動作を機能させるためにホストコンピュータに格納するホストコンピュータプログラムまたは動作制御用ソフトウェア生成プログラムを記録した情報ディスク。

【請求項8】

請求項2または請求項5に記載のコンピュータシステム、あるいは請求項3または請求項6に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムにおいて、それらの各動作を機能させる

ためにホストコンピュータに格納するホストコンピュータプログラムまたは動作制御用ソフトウェア生成プログラムを記録し、かつ回転速度に伴って振動が変化するような偏重心を持つように形成された情報ディスク。

【請求項 9】

請求項 1 または請求項 4 に記載の情報ディスク記録再生装置、あるいは請求項 2 または請求項 5 に記載のコンピュータシステム、あるいは請求項 3 または請求項 6 に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムを用いて、使用者により、前記情報ディスク記録再生装置を実際に搭載した前記コンピュータシステムを用いて設定された前記しきい値情報をもとに、前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するしきい値またはしきい値の初期値を設定することを特徴とする振動検出しきい値決定方法。

【請求項 10】

請求項 1 または請求項 4 に記載の情報ディスク記録再生装置、あるいは請求項 2 または請求項 5 に記載のコンピュータシステム、あるいは請求項 3 または請求項 6 に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムと、請求項 8 に記載の情報ディスクとを用いて、使用者により、前記情報ディスク記録再生装置を実際に搭載した前記コンピュータシステムを用いて設定された前記しきい値情報をもとに、前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するしきい値またはしきい値の初期値を設定することを特徴とする振動検出しきい値決定方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するために本発明の情報ディスク記録再生装置は、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置において、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する制御手段とを備え、前記制御手段を、前記しきい値を更新する際に、前記ディスク回転手段を制御して任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記しきい値記憶手段に記憶させるよう構成したことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明のコンピュータシステムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報

ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を、前記インターフェイス手段を介して、前記情報ディスク記録再生装置のしきい値記憶手段に記憶させる第2の制御手段を設けた構成としたことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、本発明の動作制御用ソフトウェア生成システムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置の動作を制御するためのソフトウェアを生成する動作制御用ソフトウェア生成システムであって、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られて、予め定めた前記情報ディスク記録再生装置の許容される振動量を表すしきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を用いて前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するよう制御するための前記情報ディスク記録再生装置の動作制御用ソフトウェアを生成する第2の制御手段を設けた構成としたことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項1に記載の情報ディスク記録再生装置は、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置において、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われ

る振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する制御手段とを備え、前記制御手段を、前記しきい値を更新する際に、前記ディスク回転手段を制御して任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記しきい値記憶手段に記憶させるよう構成する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項 2 に記載のコンピュータシステムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第 1 の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第 1 の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を、前記インターフェイス手段を介して、前記情報ディスク記録再生装置のしきい値記憶手段に記憶させる第 2 の制御手段を設けた構成とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

請求項 3 に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置の動作を制御するためのソフトウェアを生成する動作制御用ソフトウェア生成システムであって、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られて、予め定めた前記情報ディスク記録再生装置の許容される振動量を表すしきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第 1 の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフ

ェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを任意の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を用いて前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するよう制御するための前記情報ディスク記録再生装置の動作制御用ソフトウェアを生成する第2の制御手段を設けた構成とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

請求項4に記載の情報ディスク記録再生装置は、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置において、前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する制御手段とを備え、前記制御手段を、前記しきい値を更新する際に、前記ディスク回転手段を制御して前記所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記しきい値記憶手段に記憶させるよう構成する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

請求項5に記載のコンピュータシステムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られた許容される振動量を表すしきい値を書き換え可能に記憶するしきい値記憶手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、予め定めた前記しきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第1の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第1の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を、前記インターフェイス手段を介して、前記情報ディスク記録再生装置のしきい値記憶手段に記憶させる第2の制御手段を設けた構成とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 2 】

請求項 6 に記載の動作制御用ソフトウェア生成システムは、情報記録トラックが螺旋状または同心円状に形成された情報ディスクに対して、その情報を記録または再生可能な情報ディスク記録再生装置と、前記情報ディスク記録再生装置を外部より制御するホストコンピュータとを備えたコンピュータシステムにおいて、前記情報ディスク記録再生装置の動作を制御するためのソフトウェアを生成する動作制御用ソフトウェア生成システムであって、前記情報ディスク記録再生装置に、前記情報ディスクを所定の速度で回転させるディスク回転手段と、前記情報ディスクの振動量または振動速度または振動加速度を検出する振動検出手段と、前記ディスク回転手段を制御して所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の出力値と、使用者により、前記振動検出手段を用いて前記情報ディスクの回転速度の変化に従って変化する前記情報ディスク記録再生装置の振動及び騒音が観測され、許容可能な限度と思われる振動となった時点で送られて、予め定めた前記情報ディスク記録再生装置の許容される振動量を表すしきい値とを比較し、これをもとに最高回転速度を決定する第 1 の制御手段と、前記ホストコンピュータを接続するインターフェイス手段とを設け、前記ホストコンピュータに、前記情報ディスク記録再生装置により、前記インターフェイス手段及び前記第 1 の制御手段を介して前記ディスク回転手段を制御して、前記情報ディスクを所定の回転速度で回転させたときの前記振動検出手段の検出値を得、該検出値をもとに新しいしきい値を決定し、前記新しいしきい値を用いて前記情報ディスク記録再生装置の最高回転速度を決定するよう制御するための前記情報ディスク記録再生装置の動作制御用ソフトウェアを生成する第 2 の制御手段を設けた構成とする。